（別添資料１）

事業所名　and カイト みよし(放課後等デイサービス)

支援プログラム（参考様式）

作成日　2026 年　9 月　1 日

法人（事業所）理念	どんなに重い障がいを抱えていても、誰もが地域の中で普通に暮らしていけるように、障がいのある人もない人も共に育ち歩んでいく」		
支援方針	小学生：実年齢に即した体験活動に取り組みます。本人の気持ちを大切にしながら、日常生活動作(ADL)の向上に取り組みます。 中高生：本人の好きなことおよび強みに磨きをかけ、将来の仕事に活かせるよう取り組みます。		
営業時間	平日　13 時 30 分から 17 時 30 分まで 土・夏休み・冬休み　10 時 00 分から 16 時 00 分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	◎心身の健康状態の把握および維持、日常生活動作動作(ADL)の獲得と向上に取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・家庭および学校からの引継ぎ、事業所来所時の表情を確認し、健康管理を行います(例:来所時の体温確認、平常時の状態把握)。 ・自分で行える身の回りのことは自分で行ってもらえるようサポートします(例:1日の流れが分かるホワイトボードにて予定を確認する。靴を自分で下駄箱にしまう。鞄をロッカーにしまい、連絡ノート、水筒、決まった場所に置く等)。 ・調理実習、おやつ作りを通して、他利用者と協力しながら1つのことを取り組み、完成させる喜びおよび一緒に食べる楽しみを経験します。
	運動・感覚	◎身体機能の維持および向上および手先の機能向上に繋がるよう取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・個の成長発達は考慮しながら、実年齢に合った運動方法を取り入れます(例:散歩、公園遊び、体操、トランポリン運動等)。 ・集団遊びを通して、力の強弱、人との距離感等、様々な身体の感覚および感触に触れ、感覚の成長を促します。 ・庭を活用して、年齢が近い他利用者と一緒に身体を動かす楽しさを経験します。
	認知・行動	◎将来を見据えた小集団、社会での行動の取り方を学べるよう取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・同い年の他利用者および年齢の近い他利用者、対人関係が構築されている相手と一緒に活動をすることで、相手に認めてもらったり認めたりする経験を増やします。 ・クイズ、謎解き遊び、宝探しゲーム等、小集団で協力をして行う遊びを通して、簡単なルールを守りながら楽しむことに取り組みます。
	言語 コミュニケーション	◎数字、文字、記号の理解、自分の気持ちを表現する力の獲得に取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・1人ひとりの様子に合わせて、コミュニケーション手段の選択と提案を行います(例:言葉、指差し、身振り、サイン等、個に応じた手段での気持ちの表現方法を見つける)。 ・人の話を聞いたり、自分の思いを伝えたりと、対人とのやりとりを楽しめるようサポートします。 ・個々に合わせてなぞり書き練習、音読、PC入力等課題に取り組みます。
	人間関係 社会性	◎仲間づくりと他者集団への参加、順番とルールおよび役割の認識、社会とのつながりを大切にして支援に取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・公共施設および地域への外出を通して、「挨拶」「マナー」「公共の場でのルール」等社会生活で必要となるスキルの獲得を目指します。 ・集団で発生する様々な人間関係において、自分自身の気持ちと、相手の気持ちを大切にした行動の選択が行えるよう一緒に考えます(例:相手の気持ちを考えた発言を促す、伝わりやすい言葉の提案を行う等)。 ・地域の方、ボランティアの方等、事業所外の人とも関わりを持つ機会を設けます。

家族支援	・子どもの発達状況、特性理解に向けた情報提供をします。 ・保護者同士の交流の場を企画します。 ・保護者会を開催します。	移行支援	・法人内児童発達支援事業所と移行支援を丁寧に行います。 ・卒業後の就職先の情報提供します。 ・将来を見据えた目標設定、課題を実施します。
地域支援・地域連携	・近隣大学と定期的に交流します。 ・ボランティア、実習生の受け入れを積極的に行います。	職員の質の向上	・正規職員向け職員研修の実施(月1回)、職員の勤務形態を問わない勉強会の実施(月1回)、全職員を対象とした社内研修の実施(年1回)します。 ・学会および各種研修への参加(参加補助制度あり)。 ・職員の研究に対する補助制度および資格取得の補助制度あり。
主な行事等	おやつ作り、調理実習、防災訓練、外出日(水族館、動物園、ショッピングモール、アウトレット等)、Takeoutday(お買い物体験)、季節のイベント(夏祭り、ハロウィンパーティ、クリスマス会、初詣等)、つむぎの展、法人主催特別講演会、法人全体運動会等。		